

ブレッド湖 (Blejsko jezero)

平成28年4月
在スロベニア日本国大使館

～ブレッド湖の見所～

- 「スロベニアの真珠」、「アルプスの瞳」と称される美しい氷河湖「ブレッド湖」
- 湖畔の崖の上に立つスロベニア最古の城「ブレッド城」
- 湖に浮かぶおとぎ話に登場するような教会「聖マリア教会」
- ブレッドで60年以上にわたって親しまれる名物「クリームケーキ」



1. 基本情報

(1) アクセス

- 首都リュブリャナから47km:車で約40分
バス(リュブリャナ駅発)で1時間20分、1日20便運行。
- リュブリャナ(ヨジェ・プチニク)空港から36km:車で約30分。

(2) 統計(ブレッド市)

- ・人口:8,088名(2015年12月現在)
- ・主要産業:観光、農業、木材加工業
- ・平均総月収:1,481ユーロ(2014年)
(全国平均は1,540ユーロ)
- ・失業率:9.5%(全国平均は13.1%)(2014年)

2. 概要

(1) 地勢

スロベニア北西部ゴレンスカ地方ユリアン(ジュリアン)・アルプスに位置する美しい氷河湖で、「スロベニアの真珠」、「アルプスの瞳」とも称される。長さ2120m、幅1380m、最深部の深さ30.6m、池の周囲約6kmにおよぶ。

(2) 形成

湖畔の切り立った崖の上には中世の面影を残すブレッド城、湖の中心にはスロベニアで唯一の自然の島であるブレッド島が浮かぶ。島にはバロック様式の聖マリア教会がある。晴れた日には、澄み切った湖面にユリアン・アルプスの最高峰トリグラウ山(2864m)と教会が映し出される。

(3) 歴史

●「ブレッド」の名が初めて文献に記されたのは、1004年4月10日、ドイツ王ハインリヒ2世がブリクセン（現在のイタリアのプレッサノ自治州）のアルバイン司教にブレッド地方の支配権を与えた時であった。1011年、アルバイン司教はブレッド城を与えられ、以降約800年間にわたってブレッドはブリクセンにより治められた。

●1803年にブリクセンの統治が終了してからはオーストリアの支配下に入り、1918年のオーストリア・ハンガリー帝国解体後は、ユーゴスラビア王国の支配下に入った。2004年、ブレッドは1000周年を迎えた。

●ブレッド湖は、豊かな自然が広がる風光明媚な環境で、17世紀頃からヨーロッパの貴族のリゾート地として栄えていたが、19世紀末にスイス人の水治療法専門家であるアーノルド・リクリが湖畔にスイス式バスタブを備えた療養施設を建てたことにより、療養地として欧州で知られるようになった。次第に療養目的の患者だけでなく、健康的な環境での休暇を求める人々も集まるようになり、観光地としても発展していった。1947年には、当時のユーゴスラビア首相（後の大統領）であったチトーがこの地に別荘を構えた。

(4) 現在

現在はゴルフや釣り、夏には湖水浴、冬はアルペンスキーやクロスカントリーなど、1年を通して楽しめるスロベニアを代表する観光地として人々を魅了している。また、ブレッド湖はボート競技にも適した環境とされ、1966年、1979年、1989年、2011年に世界ボート選手権が開催された。

3. 参考情報

①ブレッド城(Blejski grad)

●ブレッド湖の湖面130mの断崖にそびえ立つ中世の城。11世紀初頭に建造されたスロベニアで最も古い城と言われている。

●16世紀初頭にこの地域を襲った大地震で深刻な損害を受けたのち、現在の姿に再建された。城の中庭には16世紀建造のゴシック様式の教会があり、現在の外観は1700年頃にバロック様式に改装されたもの。

●城の内部は、ワイナリーやレストラン、土産物



© C&MH 2010-2014

店、ブレッド地域や城の歴史を紹介する博物館がある。博物館正面右手には、マリボル市から古いブドウの木が移植されており、観光客の目を楽しませている。テラスからはブレッド湖を一望でき、観光客に人気の写真撮影スポットになっている。また、コンサートなど文化行事もよく開催される。

②ブレッド島(Blejski otok)と聖マリア教会(Cerkev Marjinega Vnebovzetja)

●ブレッド島に聖マリア教会が建てられたのは8～9世紀頃と言われている。15世紀にゴシック様式に改築され、鐘楼と主祭壇が設けられた。16世紀初頭の地震で損害を受け、バロック様式で再建された。その後も地震の影響を受け、現在の教会の外観は、17世紀頃に再建されたものである。



●島へは「プレтна(Pletna)」という手漕ぎボート(2016年4月現在、往復14ユーロ)の他、レンタルボートで渡ることができる。島には教会まで99段の石階段が続き、登り切った広場には、土産物店とカフェがある。

●教会内の祭壇にある聖マリア像は、15世紀のゴシック様式時代の物とされている。その両脇には、11世紀のブレッド領主ヘンリック2世とその妻クニグンダの肖像画が飾られている。

●1543年に教会の梁に取り付けられた鐘は、「鳴らすと願いが叶う鐘」として知られている。伝説ではその昔、夫を殺され深い悲しみを持った若い未亡人がブレッド城に住んでいた。未亡人は持っていた金銀をすべて集め、夫への思いを託して鐘を铸造しが、完成した鐘を島へ運ぶ途中で激しい嵐に遭い、鐘は船と共に湖に沈み、それ以来湖の底からは沈んだ鐘の音が聞こえるようになったと言われる。未亡人の死後、ローマ法王がこの話に感動し、この教会のために新しい鐘を铸造してブレッド島に寄贈した。以来、鐘を鳴らす時に彼女に願いごと(特に恋愛に関する願い)を伝えれば、その願いは叶うと言われており、この鐘はいつでも鳴らすことができる。

●こうした伝説もあることで、ブレッド島は結婚式場としても人気が高く、最近では、日本人がこの教会で結婚式を挙げることも多い。



この島で結婚式を挙げる際は、新郎が新婦を抱えて99段の石階段を登らなければならない決まりがある。石階段を登る間、新婦は沈黙していなければならないとされる。

③ヴァントガル渓谷(Soteska Vintgar)

●ブレッド湖から4km程北西に位置する。1891年に製図家ヤーコブ・ジューメルと写真家ベネディクト・レアゲットポーターによって発見された。その後1893年から観光客に開放されるようになった。

●ヴァントガル渓谷はトリグラウ山から流れるラドヴナ川の渓流で全長は約1.6km、岩の間に取り付けられた木の遊歩道に沿って見学ができる。

●コースからは大小様々な滝や、頭上33.5mの高さにあるポーヒン鉄道に架かる石造りのアーチ橋(1906年建造)を見ることができる。渓谷の終わりには、落下幅13mのシュームの滝(Slap Šum)がある。この滝はスロベニア国内で最も大きな滝である。

●現在は保護が進められており、立ち入るには入谷料(2016年4月現在、4ユーロ/人)が必要である。



4. 特産品

(1)ブレイスカ クレムナ レジーナ

(Blejska kremna rezina: ブレッド風クリームケーキ)

バニラクリームとカスタードクリームをシート状のパイ生地で挟んだケーキ。オリジナルレシピは、第二次大戦後パークホテルのパティシエ、イシュバン・ルカチェヴィックによって考案された。以来60年以上にわたってブレッド湖の名物として親しまれている。



(2)黄金のマス

現在ポーヒン湖に生息するカワマスは第二次大戦中、ポーヒン湖に駐屯したドイツ軍によって持ち込まれた。腹部が金色に輝いていることから「黄金のマス」と呼ばれている。このマスは、湖畔のレストランで食べることができる。



ボーヒン湖 (Bohinjsko jezero)

平成28年4月
在スロベニア日本国大使館

～ボーヒン湖の見所～

- スロベニア最大の氷河湖
- 透明度が高く、多種多様な動植物の生息地
- 雄大なサヴァ川の源流の一つをなす「サヴィツァ滝」



1. 基本情報

(1) アクセス

- 首都リュブリャナから81km:車で約1時間10分
バス(リュブリャナ駅発)で2時間、1日20便運行。
- リュブリャナ(ヨジェ・プチニク)空港から53km:車で約45分。
- ブレッド湖から南西に28km:車で約30分。

(2) 統計(ボーヒン市)

- ・人口:5,152名(2015年12月現在)
- ・主要産業:観光、農業、畜産業
- ・平均総月収:1,179ユーロ(2014年)
(全国平均は1,540ユーロ)
- ・失業率:8.1%(全国平均は13.1%)(2014年)

2. 概要

(1) 地勢、形成

- スロベニア北西部ゴレンスカ地方、トリグラウ国立公園内に位置する氷河湖(長さ4.35km、幅1km、最深部の深さ45m、周囲12km)。ブレッド湖の約3倍の大きさのスロベニア最大の湖。
- 湖の水は透明度が高く、また湖面にはほとんど波が立たない。マス、ヒメハヤ、カワメンタイといった淡水魚や藻類など多種多様な動植物の生息地になっており、ボーヒン湖ではこの生態系を守るため、湖の周辺への建築に制限を設けている。

- 湖の南側には「Lower Bohinj」と呼ばれる標高2000m前後の山々が、また北側にスロベニアで最も高いトリグラウ山(2864m)を有するユリアン(ジュリアン)・アルプスに囲まれている。

(2) アクティビティ

夏は湖水浴、トレッキングやハイキング、冬はスキーリゾートとして1年を通して多くの観光客が訪れる。英国の小説家アガサ・クリスティがボーヒンで休暇を過ごした際、「ボーヒン湖は美しすぎて私の小説の舞台にはならないわ。」と言葉を残している。

3. 参考情報

サヴィツァ滝(Slap Savica)

- ボーヒン湖の西約4kmに位置し、同湖に流れ込むサヴァ川の源流の一つ。最大78mの高低差を逆V字型を描くように落ちていく。
- 周辺はハイキングコースになっており、滝へはボーヒン湖の西岸から徒歩で約45分。車でもアクセスが可能。

